

福山市子育て応援ウィーク(福山市探択イベント)

2025年11月23日(日)開催

ハイハイの赤ちゃん & あんよの幼児

～リズムで、身体と心を豊かに～
絵本・手遊び・唄・
ふれあい遊び・リズム遊び

講師:須田知子(保育士)

場所:神辺交流館
参加人数:34人



ねんねの赤ちゃん & 妊婦さん

～あかちゃんに伝えたい
葛原しげるの世界と共に～
秋の歌を歌いましょう!

講師:植田栄子
(神辺学区の福祉を高める会事務局長)

場所:古民家
参加人数:8人



地域イベント

2025年11月2日(日)参加

カンスト

会の紹介と子どもとふれあい遊び
子育て相談

場所:神辺駅西側
参加人数:40人



赤ちゃんとの暮らしを チームで応援!

大きな木の下で 2025年度 活動報告書

活動の歩み

2019年12月	赤ちゃんとの生活に不安を抱えている母達へチームでのサポートを開始。コロナ禍により在宅支援は困難となり月1回の子育て・食支援を開始。
2020年度	一般社団法人グリーンコープひろしま福祉活動組員基金。福山地区開業助産師・理学療法士による講演と実技を行う。
2021年度	第33回NHK厚生文化事業団わかば基金。リサイクルパソコン3台支援。 10月より公益財団法人ツネインシ財団より支援を受け、チームによる月1講座開催。
2022年度	独立行政法人福祉医療機構(WAM)社会福祉振興助成事業。居場所による事業開始。
2023年度	2回目WAM助成成立。6月より神辺町の古民家を拠点に活動開始。7月から①妊婦café②ねんね③ハイハイ④あんよの会の4グループで活動開始。
2024年度	3回目WAM助成決定。神辺交流館との交流が深まり、①妊婦café②ねんね③ハイハイ④あんよ⑤どんぐりの会の5グループに拡大。神辺未来会議の活動に参加。
2025年度	月会費制と義倉助成金でボランティア運用。①妊婦café②ねんね③ハイハイ④あんよの会の4グループで継続。

活動概要・主旨

出産したすべての親子の育児生活を多面的に応援でき、育児生活の不安がゼロになれることを目指して、母と子に伴走した活動を継続しています。昨年は、義倉助成金を頂きながら、自主活動として地域に根ざす6年目を迎えました。

週一回の継続伴走支援は多くの親子の居場所の役割として成果を生み、①妊婦café②ねんねの赤ちゃんの会③ハイハイの会④あんよの会の4グループで発信・支援し、地域との交流も増え理解が深まった1年でした。



アドバイザー



村口 裕美

助産師・保健師
(代表・事務局)



藤井 鈴子

栄養士・元保育園園長
(副代表・会食担当)



細川 良子

管理栄養士・健康相談指導士
(副代表・事務局)



下江 律子

保育士
(遊びサポート)

【連携団体】

福山市保健福祉局ネウボラ推進課 / 福山市町づくりサポートセンター / 福山市神辺交流館
福山市民局神辺支所 神辺地域振興課 / 福山市社会福祉協議会 / 福山市民局神辺支所 保健福祉課



妊娠中から赤ちゃんとの暮らしをチームで応援!

大きな木の下で

お問い合わせはメール、電話、又は公式ラインアカウントよりお願い致します。

TEL:090-9007-6564

広島県福山市神辺町川南3087

✉ okinakinoshta@gmail.com



【公式ホームページ】
【公式LINE】
【公式Instagram】

全てこちらの
QRコードから



妊婦Café

妊娠中の過ごし方、赤ちゃんとの関わり方、母乳育児に向けての準備などの伴走

場所：古民家 参加費：無料
2025年4月～2026年3月 第1火曜日開催 10:00～11:30



- (1) 妊娠中の食を含む生活を整えるコツを理解する。
- (2) 自分のからだを理解し、赤ちゃんの生活に必要な触れ合いあそびを理解する。(抱っこ・新生児の生理に合わせた生活・母乳の準備等)
- (3) あんよの会との交流を深め、仲間を作り、具体的な自分の育児生活がイメージできるようになる。

(参加人数／単位：人)

4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	1月	2月	3月	合計
1	—	—	—	1	1	2	—	1	—	6

アドバイザー

お産に備えた体の使い方・抱っこの実践・母乳育児セルフケアを実施。時にはあんよの会との合流で「生活の中で命を愛でる」体験も提供しました。食の面では妊娠期に必要な栄養から食材・調理法を伴走しながら実践。出産後の食卓づくりへのイメージも広げる工夫をしました。

参加者の声

○妊娠期に必要な栄養バランス、ご飯の量、ご飯の作り方を学ぶことができたからです。料理の過程を実際に見ると「自分もできそうだな」という自信に繋がりました。また、量を見て食べることで目安がわかりました。

○背中の緩め方、ストレッチ方法、体の使い方、マッサージの仕方を知ることができて体が軽くなりました。最近、背中の凝りが気になっていましたがストレッチをすることでとても楽になりました。太もも裏のマッサージは気持ちよかったので、夫にしてもらおうと思います。



ねんねの赤ちゃんの会

赤ちゃんとの関係づくり、授乳の悩み、離乳食の始め方の伴走

場所：古民家 13:00～14:30
2025年4月～2026年3月 毎週水曜日



- (1) わが子の身体発達段階の確認をする。
- (2) 食べる機能の前段階を理解する。
- (3) 継続してわが子にできる体操やマッサージ・触れ合いあそびを行う。
- (4) 仲間ができるように応援する。

(参加人数／単位：人)

4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	1月	2月	3月	合計
48	48	57	44	50	38	20	8	19	26	358

アドバイザー

抱っこ・授乳個別指導で嚥下につながる授乳と乳児発達を実践。マッサージや体操・感覚遊びで運動発達を促し捕食実習も実施。LINEも活用した伴走支援で母達の不安を軽減。発達に問題を抱える赤ちゃんも同じ空間で応援できました。

参加者の声

○悩みをいっぱい聞いてくれ、肯定的な声かけをしてくれおっぱいの状態を見てもらえてよかったです！その後、赤ちゃんの飲み方も見てもらい、私が思っていたよりも上唇をあげて飲ませたらいいんだと気づけました。赤ちゃんへのマッサージの仕方、今の時期にしたらい姿勢を学んだので、8月もたくさんふれ合いたいと思います。

○離乳食を食べない息子ですが、アドバイスして頂いてだんだん少しずつ食べられるようになってきました。ねんねの会に行っていなかったら不安だらけの育児だったので満足しています。



ハイハイの赤ちゃんの会

広い場所でのハイハイの保障。授乳、離乳食の関係と嚥下力などを通し離乳食、中・後期を豊かに、遊び方の伴走

場所：古民家 10:00～11:30
2025年4月～2026年3月 毎週水曜日



- (1) 食支援の方法に月1回の離乳食講座。
- (2) 室内では肋木・廊下這い這い、室外では土山で遊ぶ。
- (3) 助産師、栄養士の個別相談も同時に行う（卒乳に向けての相談など）。

(参加人数／単位：人)

4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	1月	2月	3月	合計
48	50	63	54	48	45	40	69	33	30	480

アドバイザー

意欲満々の子ども達と肋木・ハイハイレース・土遊び・水遊びなど感覚神経を豊かにする活動を実施。月1回の離乳食実習では旬の食材で安価に大人の食事からのとりわけ離乳食を親子一緒に体験し、家庭での実践、子どもが少しずつ食べるようになる姿も見届けました。

参加者の声

○暖かい雰囲気で、母親の私も楽しかったです。水遊びに離乳食、沢山のことを体験できて、娘も刺激をたくさんもらったようでした。

○食事のことや睡眠のことを相談できたことと、子どもが最初は緊張して場所見知りしていたが、後半には動きも増えて楽しんで、食事も自ら食べるようになったこと。

○初めて砂場遊びをしました。公園に連れて行っても、まだ歩かないので砂場で遊ばせてなかったのですが座らせて砂を触るだけでも良い刺激になると気付くことが出来ました。



あんよの会

歩く力を付ける散歩、自我との上手な付き合い方、自分で出来る事を増やす生活、移行食、幼児食伴走

場所：古民家 10:00～11:30
2025年4月～2026年3月 第1・3火曜日



- (1) 歩く力を散歩や肋木遊びで確かなものにし、水でしっかり遊ぶ。
- (2) 幼児食への移行期食を食べる。手作り弁当を食べる。(栄養士の個別指導を含む)
- (3) 保育士、栄養士による仲間と個別遊びの提案。

(参加人数／単位：人)

4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	1月	2月	3月	合計
16	14	8	28	32	30	3	24	14	22	191

アドバイザー

散歩・土遊び・夏のプールなど自然の中での感覚体験を豊かに実施。自我に負けてしまいがちになるので、共感しながらも譲らないコツをつたえました。身支度・片付けなど自分でできることを少しずつ増やすよう支援を行い、幼児食実習にも取り組んで好評でした。

参加者の声

○1年程通わせもらい、雰囲気も良く、親子さんや先生がいい方ばかりで楽しく通え、なにより子どもの成長を大きく感じました。手遊びやプールなど大満足です。

○自分が遊んでるものを取られて、攻撃しようしたり、自分が持っているものをちょうだいと友達に言われて、「イヤ」の仕草を見せたり、独占欲が出てきたように感じました。「こう言うといいよ」を伝えていこうと思います。

○幼児食実習、何もかもびっくりでした。とても簡単に見えて、「自分もできるかも！」と思え、家でもやってみます。その際はなるべく娘にも手伝ってもらおうと考えています。

